



ご支援への感謝と未来への挑戦 ～医学部創立50周年記念事業募金を1年間延長します～

島根大学医学部創立50周年記念事業募金につきましては、卒業生や県内の医療機関・医療関係者の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2026年5月末現在、924件、約2億円のご寄附をお寄せいただいております。

本事業では、次の50年を見据えた医学教育環境の充実を目指し、新教育棟の整備を中心とした各種記念事業を進めています。地域医療を支える優れた医療人材を育成するためには、学生や若手医師が学び、成長できる環境のさらなる充実が不可欠です。

このたび、本事業をさらに推進し、新教育棟整備の実現に向けた取組を進めるため、募金期間を2027年3月31日まで1年間延長することといたしました。引き続き5億円を目標としています。

皆様からのご支援は、未来の医療を担う人材の育成につながり、ひいては地域医療の発展を支える大きな力となります。引き続き、本事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

島根大学医学部長
竹谷 健



寄附のお申し込みについて



下記二次元コードから、
医学部創立50周年記念サイトを
ご覧ください。



払込取扱票（振込用紙）の送付をご希望の場合、
下記までお気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ先】

島根大学医学部50周年事務局
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL：0853-20-2018
E-mail：50th@med.shimane-u.ac.jp



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2026年
8月
Vol.154

NEWS



CONTENTS

表紙：臨床検査医学講座 教授 矢野 彰三

中表紙

- ・ロボット手術管理部 教授就任のご挨拶
- ・総合感染症センター 教授就任のご挨拶

裏表紙

- ・ご支援への感謝と未来への挑戦
～医学部創立50周年記念事業募金を
1年間延長します～



ロボット手術管理部 教授就任のご挨拶

ロボット手術管理部 教授 やまもと てつ
山本 徹

2026年7月1日より、ロボット手術管理部教授を拝命いたしました山本徹です。1999年（平成11年）に島根医科大学（現・島根大学医学部）を卒業し、現在の消化器・総合外科の前身である第二外科に入局いたしました。入局当時は、日本初の生体肝移植を行われた永末直文教授のもとで、厳しくも温かい指導を受けながら肝臓外科医を目指しておりましたが、さまざまなご縁をいただき、現在は、大腸外科を専門にしております。

ロボット手術は、「内視鏡手術支援機器（複数のメーカーがあります）」という機器を操作しながら行う手術で、開腹手術と内視鏡手術の利点を合わせたような手術です。

現在、ロボット手術は多くの診療科で導入・実施されており、今後は“主流”となる手術法として期待されています。一方で、執刀医と患者さんの間に“機械”が介在するため、わずかな操作ミスやトラブルであっても重大事故につながる可能性があります。そのため、ロボット手術管理部では、このような事故を未然に防ぐため、システムの運用や術者トレーニング、トラブル発生に対するシミュレーションの実施などを通じて、安全で質の高い手術が実施できる体制を整えてまいります。

当院は県内で最も多くのロボット手術を実施している施設です。今後も、安全性を最優先に、医師・看護師・メディカルスタッフが一体となって質の高いロボット手術を提供するとともに、地域医療の発展にも貢献できるよう努めてまいります。皆様のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



問い合わせ先 消化器・総合外科学講座 TEL:0853-20-2232

総合感染症センター 教授就任のご挨拶

総合感染症センター 教授 はだの よしろう
羽田野 義郎

2026年7月1日付で、総合感染症センター教授を拝命いたしました羽田野義郎と申します。私は2022年より当院感染制御部に着任し、新型コロナウイルス感染症への対応では、多くの感染症関連専門職をはじめ、病院職員、行政、地域医療機関の皆さまと力を合わせ、感染制御に取り組んでまいりました。皆さまの多大なるご尽力とご協力により、この困難をともに乗り越えることができましたことに、心より感謝申し上げます。

本センターは、新興・再興感染症をはじめとする感染症への総合的な対策、人材育成、研究の推進を目的として設置されました。新興感染症とは、新たに出現した、あるいは近年急速に拡大した感染症を指し（COVID-19、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、エボラウイルス病など）、再興感染症とは、一度減少したものの再び増加している感染症を指します（麻疹、梅毒など）。また、抗菌薬が効きにくい病原体への対策である薬剤耐性（AMR）も、世界的な重要課題となっています。

気候変動や国際的な人の往来の増加により、感染症を取り巻く課題はますます多様化・複雑化しており、新興・再興感染症や薬剤耐性への対応がこれまで以上に重要となっています。本センターは、地域医療機関や行政の皆さまと連携しながら、人材育成、研究、情報発信を推進し、地域の感染症対策の充実と発展に貢献してまいります。今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



問い合わせ先 感染制御部 TEL:0853-20-2483



島大病院ニュース 2026年 8月

お知らせ



心疾患イノベーションセンター長就任のご挨拶

心疾患イノベーションセンター センター長 さとう ひろとも
佐藤 寛大

2026年7月1日付で、心疾患イノベーションセンター長を拝命いたしました佐藤寛大です。近年、高齢化に伴い心不全患者数は増加しており、その背景には心臓弁膜症や先天性心疾患を含む構造的な心疾患があります。当センターでは、これらの疾患に対する専門的な診療を提供しています。心臓弁膜症は高齢の方に多い疾患ですが、従来は胸を切開する外科手術のみが根本的治療でした。

医療技術の進歩に伴い、血管に細い管（カテーテル）を挿入し心臓弁膜症や構造的な心疾患の治療をすることが可能となりました。カテーテル治療の特徴は傷が小さく、術後の早期リハビリを実施できる点です。その結果として入院期間の短縮につながり、早く元の生活へ戻っていただくことが期待できます。このため、年齢や合併症などの理由から従来の手術が難しいと考えられる方にも、有効な治療を受けてもらえるようになりました。

どのような治療法が最適かは患者さんごとに異なります。循環器内科、心臓血管外科、麻酔科という医師だけでなく、多職種によるハートチームで、それぞれの患者さんに最適な治療を提案しております。

心疾患イノベーションセンターは心臓弁膜症や構造的な心疾患に対するカテーテル治療を充実させることで、心不全診療の向上に取り組み、診療、教育、研究の三領域をバランスよく実現することを目標としております。院内での連携はもちろん、県内の各医療機関とも連携してまいります。



問合せ先 循環器内科医局（内科学第四） TEL：0853-20-2206

お知らせ
島大病院ニュース

2026年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2026年 8月

お知らせ



不整脈治療センター長就任のご挨拶

不整脈治療センター センター長 みき ゆうこ
三樹 祐子

2026年7月より「不整脈治療センター」が開設され、センター長を仰せつかりました三樹祐子です。不整脈治療は近年、飛躍的な進歩を遂げています。新たな治療機器や治療法が次々と実用化され、診療は日々アップデートされています。

主要疾患である心房細動に対するカテーテルアブレーションは、三次元マッピングシステムや治療機器の進歩により、安全性・有効性ともに大きく向上しました。当センターでは今夏よりパルスフィールドアブレーションを導入し、より低侵襲で安全性に優れたアブレーション治療を開始します。（写真2）

また、心房細動に伴う脳梗塞予防を目的として、左心耳閉鎖術の導入も予定しています。経皮的左心耳閉鎖術に加え、胸腔鏡下左心耳閉鎖術にも対応し、患者さん一人ひとりに適した治療を提供できる体制を整備中です。

当センターの大きな特徴は、循環器内科と心臓血管外科が一体となった診療体制です。さらに、呼吸器外科、脳神経内科、麻酔科をはじめとする多診療科との緊密な連携のもと、分野横断的な医療を実践しています。また、看護師、臨床工学技士、診療放射線技師などの多職種が、それぞれの専門性を発揮し、チーム医療を支えています。この診療基盤を生かし、将来的には難治性心室性不整脈に対する心臓交感神経切除術の導入も視野に入れています。

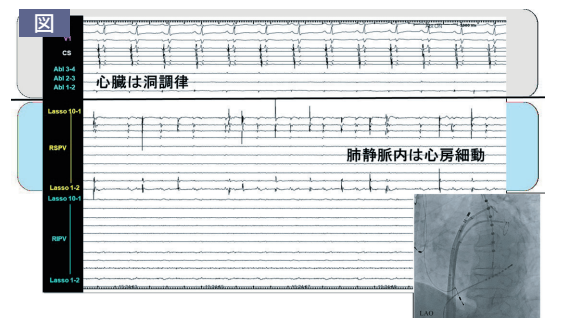
島根県における不整脈診療の中核施設として、安全で質の高い医療の提供と次世代を担う人材の育成に努め、患者さんが安心して治療を受けられるセンターを目指してまいります。



写真1
2025年日本不整脈心電学会
皆で参加し最新の知識を勉強してきました（右端が著者）



写真2
カテーテルアブレーション



心内心電図
（カテーテルアブレーション後の肺静脈隔離（PVI）の所見。
心房は洞調律、肺静脈内は心房細動）

問合せ先 循環器内科医局（内科学第四） TEL：0853-20-2206

お知らせ
島大病院ニュース

2026年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 8 月

ご報告



「健康ハートの日2026@島根」を開催しました

リハビリテーション部 理学療法士 いまおか けい
今岡 圭

2026年6月28日(日)、ゆめタウン出雲 太陽の広場にて「健康ハートの日2026@島根～見て・知って・守ろう!わたしのハート～」を開催しました。本イベントは、心臓の健康や心不全を身近なテーマとして知っていただき、日々の生活の中で予防や早期受診につなげることを目的に、島根県脳卒中・心臓病等総合支援センターと島根県が共催し、伊藤医院、しまね心不全地域連携ネットワークの後援のもと実施しました。

当日は、心臓の仕組みをわかりやすく学ぶ「すごいぞ心臓」、運動を交えた「心不全予防講座」、心肺蘇生法の実演、島根の伝統芸能である神楽上演に加え、薬剤師体験や聴診器づくりなどのワークショップ、血圧測定、AED・栄養指導・心臓模型展示、白衣での記念撮影など、多彩な企画を行いました。

医療職だけでなく、地域で活動される皆さまにもご協力いただき、会場全体で健康づくりを応援する雰囲気になりました。親子連れをはじめ多くの方にご来場いただき、会場では熱心に説明を聞く姿や、体験を楽しむ子どもたちの笑顔が見られ、終日大変にぎわいました。今回のイベントが、ご自身やご家族の心臓の健康について考えるきっかけとなれば幸いです。

今後も地域の皆さまとともに、心臓を守る予防啓発と心不全地域連携の推進に取り組んでまいります。

問合せ先 リハビリテーション部 TEL：0853-20-2457



2026年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2026年 8 月

ご報告

2026年度版

外来編

患者満足度アンケートの自由記載欄に寄せられた声から読み解く改善の手がかり

患者満足度向上WG
医療情報部 准教授 かわむら としひこ
河村 敏彦

2025年度に実施した外来患者満足度アンケートでは、自由記載欄に92件のご意見が寄せられました(お褒めの言葉34件、不満・要望58件)。本稿では、外来における課題を明確にするため、不満・要望に関するご意見を中心に分析しました。

それによると、特に診察までの待ち時間や予約時間からの遅れ、診察後の会計などの「待ち時間」に関する指摘が多数を占めていました。また、待ち時間の目安が分からないことや呼び出しの分かりにくさなど、見通しが立たないことによるストレスも指摘されていました。

【患者さんの声：待ち時間・見通し】

「予約しているのに予定より大きく時間がずれてしまい、とても大変でした」
「あと何分待つのか目安が分からず、不安なまま待つのはストレスでした」
「数時間待つこともあり、待ち時間が長いことを負担に感じました」

さらに、会計窓口の混雑や駐車可能台数の不足、診療科間の移動負担、案内表示の分かりにくさなど、外来の導線や運用に関する指摘も見られました。

【患者さんの声：外来運用・環境】

「会計までの時間がとても長く、診察が終わってからでも待つことがありました」
「駐車場が満車で車を停められず、困ることが何度かありました」
「診察室の場所や案内表示が分かりにくく、迷ってしまうことがありました」

ご意見の中には、「仕方ないとは思うが」との前置きがあるのも見られたことも特徴的です。患者さんが医療現場の状況を理解しつつも、負担を感じている現状が示されています。

以上より、外来における課題は、待ち時間の長さに加えて、その見通しの不確実性や情報提供の不足によって生じる受診時の負担にあると考えられます。今後は待ち時間の短縮とあわせて、診療フローや待ち時間の目安を分かりやすく伝える工夫を通じて、患者さんの負担軽減に努めてまいります。

問合せ先 医療サービス課 TEL：0853-88-3401



2026年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年8月

ご報告



講演の様子



質疑応答の様子(左から椎名病院長、金崎教授、皆本准教授、吾郷助教)

周産期医療についての市民フォーラムを開催しました

総務課企画調査係

2026年6月14日(日)、医学部臨床小講堂にて出雲市民フォーラムを開催しました。不妊治療、妊娠・出産、新生児医療をテーマに、若い世代や出雲市外の方にも多くご参加いただきました。

はじめに、婦人科診療科長の金崎春彦教授が「不妊症のお話」と題し、不妊治療の基礎知識や治療の流れについて解説しました。また、2022年から生殖補助医療が保険適用となったことを紹介し、妊娠には年齢が大きく影響するため、悩んだ際には早めに相談してほしいと呼びかけました。

続いて、産科診療科長の皆本敏子准教授が、島根県を中心とした出産の現状と「プレコンセプションケア」の重要性について説明しました。若い女性のやせ傾向や低出生体重児の増加に触れ、妊娠前から健康的な生活習慣や栄養バランスを意識することの大切さを伝えました。

最後に、総合周産期母子医療センター(小児科)の吾郷真子助教が、NICU(新生児集中治療室)の役割や診療体制について紹介しました。赤ちゃんの予定入院が決まっているのはわずか1割で、大半は出生後の想定外であること、常に起こり得る想定外の事態にも迅速に対応できる体制が整えられていることを説明しました。

アンケートでは、「普段聞けない話を聞くことができて良かった」「不妊治療の保険適用についてもっと周知すべきだと思った」「NICUの現場を知ることができた」などの感想が寄せられました。また、皆本准教授が強調した「ヘルスリテラシー」の重要性にも多くの共感の声が集まりました。さらに、金崎教授からは「少子化が進む中でも、島根県のお産の体制を維持していくことが使命である」との強い決意も述べられました。

次回は、10月24日(土)に「ひざ痛・便秘・尿漏れ」をテーマに開催する予定です。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL: 0853-20-2531



2026年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2026年8月

ご報告



職員による環境整備ボランティア活動を実施しました

会計課施設管理室長 吉田 泰樹
よしだ たいき

当院の環境整備は、各種団体のボランティアの方々に定期的に行っていただくほか、業者に委託していますが、職員のボランティアによる環境整備も実施しています。

今回は、6月に実施した職員ボランティア活動のご報告です。

2026年6月27日(土)に、椎名病院長、竹谷医学部長をはじめとする教職員総勢24名により、臨床研究棟・第二研究棟周辺の除草・剪定などの清掃活動を行いました。

当日は、季節外れの台風により数日続いた雨が心配されました

が、幸いにも降雨に見舞われることなく、予定どおり作業を実施することができました。除草・剪定・集積作業の結果、敷地内の環境が整い、すっきりとした景観となりました。

今後も大学・附属病院の美観を維持するボランティア清掃活動にご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。



問合せ先 会計課施設管理室 TEL: 0853-20-2549



2026年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 8 月

お知らせ



乳腺外科に女性医師が着任しました！

乳腺外科 教授 かどや 角舎 たかゆき 学行

このたび乳腺外科に、小林美恵（こばやしよしえ）医師が着任しました。乳腺外科を専門とし、乳がんの診断から手術、薬物療法、術後フォローアップまで幅広い診療経験を有しています。また、日本乳癌学会認定乳腺専門医だけでなく、県内でも少ない指導医として、質の高い乳がん診療と若手医師の育成にも取り組んでくれます。

患者さん・ご家族との対話を大切にし、一人ひとりの価値観や生活背景、ご希望に寄り添った、きめ細やかな診療を心掛け、医療・看護・介護は患者さん・ご家族の皆さまが中心である、“Patient-Centered Medicine/Care”を大事にしております。

小林医師は毎週木曜日と金曜日（隔週、月によって変更の場合あり）の乳腺外来を担当します。女性医師による診療を希望される患者さんにも安心して受診していただける体制が整い、これまで以上に迅速な乳腺診療・治療の提供が可能となりました。

当科では、「できるだけ早く診察し、適切な治療につなげる」ことを診療方針としており、紹介患者さんには速やかに受診していただけますよう努めています。乳房のしこりや画像検査で要精査となった方、乳がんが疑われる方、治療方針について専門的な意見を希望される方など、どのような症例でもお気軽にご紹介ください。診断から手術、薬物療法、術後のフォローアップまで責任を持って当科にて対応いたします。

より充実した乳腺診療体制のもと、地域の先生方との連携を一層深め、当院・院外含め多くの職種の医療者によるチーム医療をもとに、地域の患者さん・ご家族の皆さまに安心していただける質の高い乳がん診療の提供を行ってまいります。新患のご紹介を心よりお待ちしております。今後とも当院乳腺外科を何卒よろしくお願いいたします。

問合せ先 外科外来 TEL：0853-20-2384



小林美恵 医師



島大病院ニュース 2026年 8 月

ご報告



地域医療に関心のある高校生を対象に セミナーを開催しました

地域医療支援学講座 助教 ほった 堀田 ゆきえ 優希江

地域医療支援学講座では、地域医療の充実のために地域医療に興味のある高校生を対象としたセミナーを開催しています。

島根県内外から多くの高校生や保護者の皆さまにご参加いただき、地域医療への関心の高さがうかがえる、有意義な機会となっています。

このたび、2026年6月27日（土）に、「高校生対象しまねの地域医療セミナー」を開催しました。セミナーでは、佐野教授から島根大学医学部の地域枠・緊急医師確保枠・県内定着枠といった入学枠制度について説明があり、「将来、地域でともに働く仲間が増えてほしい」という思いを込めたメッセージが参加者へ送られました。

県内で活躍する先輩医師からは、医師という仕事の魅力や、医療を通じて地域へ貢献することのやりがいについてお話いただきました。在学生からは、医学部での学生生活や授業、受験勉強の体験談など、進学を目指す高校生にとって参考となる内容が紹介されました。セミナー後は個別質問を受け付け多くの高校生がそれぞれの思いを胸に学生・教員へと質問していました。

参加者アンケートでは、「参加できてよかった。モチベーションにつながった」「将来について考えることができ、勉強をさらに頑張ろうと思った」といった高校生からの声や、「安心して子どもを送り出せる環境だと感じた」といった保護者からの感想が寄せられました。

今後も同様のセミナーを開催する予定です。地域医療や医学部進学に興味のある高校生の皆さまのご参加をお待ちしています。

問合せ先 地域医療支援学講座 TEL：0853-20-2558



2026年 8 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2026年 8 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年 8 月

お知らせ

先進医療A「標準治療終了前におけるがんゲノムプロファイリング検査」開始のお知らせ

臨床遺伝・ゲノム医療センター センター長 やまと ひろまさ
山本 寛斉

がん治療では患者さんの遺伝子異常に基づく個別化治療が標準治療として浸透しつつあり、新規の分子標的薬開発が進展しておりますが、2019 年からは固形がんに対して数十から数百種類のがん関連遺伝子を解析するがんゲノムプロファイリング検査（がん遺伝子パネル検査）が保険適用で受検可能となりました。しかし、現行の保険適用は「標準治療がない、または局所進行または転移が認められ標準治療が終了となった固形がん患者（終了見込みを含む）」に限定されているため、検査を受けて治療対象となる遺伝子異常が検出されたとしても、標準治療終了後では全身状態の悪化などにより治療導入に至らない患者さんが少なくありません。

このような状況の中、本年よりがんゲノム医療指定医療機関において、先進医療 A として標準治療終了前にかん遺伝子パネル検査が実施できるようになりました。当院においても 8 月より実施可能となりましたのでお知らせいたします。

先進医療に係る費用は患者さんが全額自己負担することになりますが、当院では保険診療でのがん遺伝子パネル検査 (56,000 点) に相当する 560,000 円に消費税 10% (56,000 円) を加えた 616,000 円を当該先進医療の費用として設定しております。患者さんが民間の医療保険に加入しており「先進医療特約」が付帯されていれば、全額もしくは一定額が保険金として支払われます。また、先進医療 A でがん遺伝子パネル検査を受検された患者さんは、今後、保険診療でのがん遺伝子パネル検査をもう一度受検することができます。

本先進医療 A を周知するポスターを院内に掲示しており、また患者さん向けのパンフレットも用意しております。適応となる患者さんがいらっしゃいましたら当センターにご紹介をお願いいたします。

進行・再発のがんと診断され、これから薬物治療を控えている方へ

先進医療A がん遺伝子パネル検査

※先進医療とは、将来的な保険適用を目指している新しい医療です。

最大のメリットは
薬物治療を開始する前から検査を受けられること

【保険診療】
診断 → 標準治療 → 終了見込みまで治療継続 → 検査

【先進医療A】
診断 → **すぐに検査** → 早期からあなたに合った治療戦略を！

先進医療Aでがん遺伝子パネル検査を受検された患者様は、薬物治療の後半で、保険診療でのがん遺伝子パネル検査をもう一度受検することができます。

がん遺伝子パネル検査とは？

- 一度に、数十から数百種類の遺伝子を同時に調べます。
- 一人一人の遺伝子の変化に合わせた、効果が期待できる薬を探す検査です。

先進医療Aの費用について
自費診療です

【重要】
ご加入の民間保険に、“先進医療特約”が付いている場合、費用補償の対象となる場合があります。まずはご自身の保険内容をご確認ください。

詳しくは個別相談でご案内いたします。
お電話、またはQRコードからお申し込みください。

島根大学医学部附属病院
臨床遺伝・ゲノム医療センター
TEL: 0853-88-3053 (平日: 9:00-16:00)

個別相談会
お申込み

ホームページ
で詳しく見る

先進医療 A ポスター

(※本コンテンツの一部は、本学契約の生成AIを利用して生成しています)

問合せ先 臨床遺伝・ゲノム医療センター TEL: 0853-88-3053



島大病院ニュース 2026年 8 月

お知らせ



災害対応力向上を目指したトリアージシステムの再構築

災害医療・危機管理センター (DiMCOC) センター長 わたなべ ひろあき
渡部 広明
副センター長 ひら えいじ
比良 英司
医療情報部 副部長 いけど ひろゆき
生土 博之

当院では、災害時における患者情報の迅速な共有と円滑な情報伝達を目的として、災害医療・危機管理センター (DiMCOC) を中心にトリアージシステムを全面的に再構築しました。

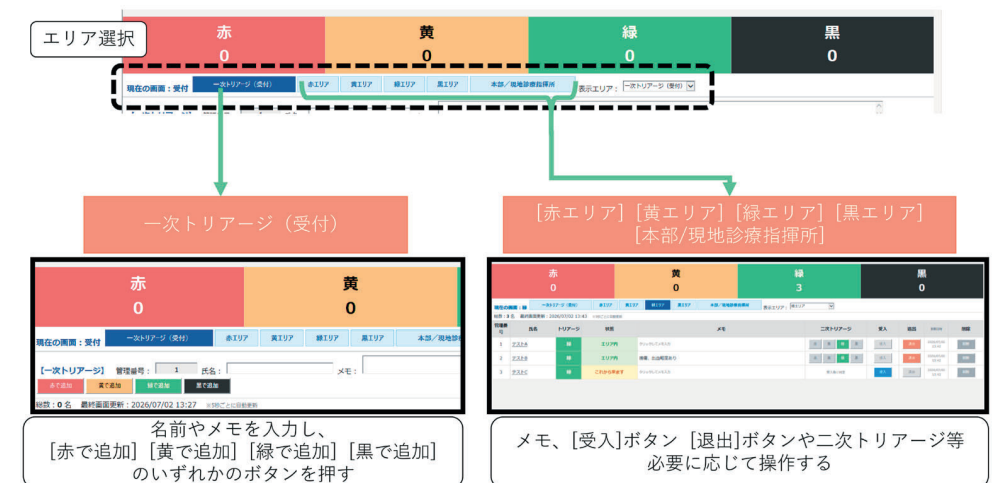
従来のシステムは Excel を用いて運用していましたが、災害訓練では複数端末からの同時アクセスによるデータ共有の遅延や、データ量の増加に伴う動作速度の低下などの課題がありました。また、操作方法が複雑で、災害時に初めて操作する職員にとっては分かりにくく、短時間で正確な情報入力や状況把握を行うには改善の余地がありました。

今回の再構築では、これまでの訓練で得られた課題や現場職員の意見をもとに、システムの設計を一から見直しました。患者登録やトリアージ区分の変更は直感的な操作で行えるよう改善し、各エリアの患者数や重症度をリアルタイムで集計・表示することで、災害対策本部における状況把握や人員配置、患者受け入れの判断を迅速に行える仕組みとしています。

また、シンプルな画面構成と軽快な動作により、災害時でも安定した運用が可能となりました。本システムの特徴は、医療情報担当の看護師が中心となって開発を行った点にあります。日頃から看護業務に携わる立場だからこそ、災害現場で求められる情報や操作性を理解し、実際の運用を意識したシステム設計を行うことができました。また、DiMCOC において災害医療に携わる多職種で意見交換を重ねながら改良を進めることで、現場のニーズを反映した実践的なシステムへと発展させています。

今後も災害訓練を通じて継続的な改善を重ねるとともに、医療情報と臨床現場の双方の視点を活かしながら、災害対応力のさらなる向上と地域医療への貢献を目指してまいります。

図 今回作成した島根大学医学部附属病院オリジナルのトリアージシステム



問合せ先 情報管理室 TEL: 0853-20-6099

お知らせ
島大病院ニュース

2026年 8 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



お知らせ
島大病院ニュース

2026年 8 月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

